

常任委員会の報告

総務委員会

12月定例会で付託された議案1件について報告する。

◆一般会計補正予算(第6回)

問 歳入の市税、入湯税1450万円の積算根拠は。

答 特別徴収義務者となる施設が2か所増え、約9万6700人分の増加を見込み計上した。

問 体育施設整備事業に関し、影森グラウンド全体の構想はできているのか。また、敷地内に国有地があるというのだが、今後、借地権として国から地代を要求されることがあるのか。

答 測量ができた後に、全体の計画を立て進めていく。国有地に関しては、調査後に国や県土整備事務所等と検討しながら移管手続きを進めていくが、どのような形で移管されるか今の時点では不明。無償で譲渡してもらえよう事務手続きを進めていく。

問 姉妹都市・友好都市交流事業に関し、韓国・江陵市とは姉妹都市提携40周年であるが、周年事業として記念誌の発行はしないのか。

答 記念誌の発行主体は民間の交流団体であり、5年度に関しては、周年事業の記念誌の発行は考えていない。

問 戸籍住民基本台帳等事務費に

関し、システム改修で、マイナンバーカードに「振り仮名」がふれるようになるが、表記は選べるのか。

答 振り仮名はカタカナ表記で、希望者はローマ字表記も可能とするよう国から示されている。

意見 マイナンバーカードは、数々のトラブルや情報漏洩が明るみに出てきており、個人情報保護委員会がデジタル庁に情報漏洩の意識が欠如しているとの行政指導を行う状況である。市の事務負担も重い。市民にも市にも、メリットが少なく、計り知れないデメリットを持つマイナンバーカードの、政府による強引な利用拡大策に反対の立場であるので、その利用促進のための補正予算を計上したこの予算に反対する。
○挙手多数により可決



影森グラウンドの現地調査

まちづくり委員会

12月定例会で付託された議案4件について報告する。

◆農政総合推進協議会条例の一部改正

問 構成人数を21人から13人に改めるが、改正前と同様に副会長が2人必要な理由は。

答 調査審議事項に対し、現場調査等もあること、副会長という職責のある立場から複数の目で現場を確認する必要があるため改正前と同様に2人配置したい。

◆一般会計補正予算(第6回)

問 ミニーズパークトイレ改修工事実施設計業務委託料は、7年に実施される全国植樹祭の会場レイアウトが分かった上での改修なのか。

答 レイアウトの詳細は提示されていないが、県から案として、今回改修するゲートハウスがメイン会場の入口になると示されている。

問 全国植樹祭に関連し、改修工事の補助金交付の予定は。

答 全国植樹祭に関連した補助金が交付される予定はないが、今後策定する公園施設の長寿命化計画に関連し、その他必要な工事とともに補助金の対象となるよう県と調整している。

問 商工会議所が「はんじょう博」をウニクス秩父にて行うとのこと

だが、詳細な場所の想定は。また、事業費の一部を補助することになった経緯は。

答 ウニクス北側駐車場を予定している。補助金については、「はんじょう博」開催の申し出が年度途中にあつたため、事業費の3分の1を、商工会議所管内の秩父市と横瀬町で組合員の割合に応じて負担する。

◆駐車場事業特別会計補正予算(第2回)

問 三峰駐車場の拡張に関し、当初計画していた場所が地すべり箇所であつたため場所を変更したとのことだが、場所と規模は。

答 既存の駐車場手前の隣接地に拡張する方向で検討している。規模については、現在設計中である。

◆下水道事業会計補正予算(第2回)
○以上4件は原案のとおり可決



第75回 全国植樹祭 増五 2025 第75回全国植樹祭ロゴマーク

文教福祉委員会

12月定例会で付託された議案7件について報告する。

◆個人番号の利用に関する条例の一部改正

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

問 課税限度額を引き上げるとのことだが、高齢者の負担を増やすものではないのか。

答 課税限度額引き上げに該当するのは、世帯所得が1千万円を超えるのは、世帯所得であり高齢者への影響は少ないと考える。今回の改正は、後期高齢者医療支援分の引き上げであり、これにより後期高齢者医療の保険料の増額を抑え、高所得層の負担により、広く保険者で後期高齢者医療制度を支えていく目的である。

◆一般会計補正予算(第6回)

問 学校給食調理・洗浄・配膳業務委託料について、5年度から7年度の3年契約で、安価な契約ができたため減額の補正を行うとのことだが、契約方法等の変更があったのか。

答 今までと同じくプロポーザル方式で契約しており変更はないが、今回から、今まで直接雇用をしていた配膳員の配膳業務を業務内容

に含めている。

用語解説
「プロポーザル方式」

複数の企業の中から、最も優れた提案をした企業を契約の候補者として選定する方式。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

問 診療施設勘定の医療機器購入費の内容は。

答 大滝国民健康保険診療所の歯科診療用ユニット一式および歯科用コンプレックス1台の購入費で、診療所内の歯科診療用ユニット2台中1台が故障していたが、5年4月から秩父郡市歯科医師会に診療の一部を委託し、患者数も増えてきているため、故障中の歯科診療用ユニットおよび歯科用コンプレックスを買い替える。

◆介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆市立病院事業会計補正予算(第3回)

○以上7件は原案のとおり可決
◆国へ「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書」の提出を求める請願

意見 オンライン資格確認導入の原則義務化、現行の健康保険証の廃止は、任意であるマイナンバーカードの取得を事実上義務化させることになり、国民から選択の自由を奪い、国民皆保険制度の趣旨に反することになる。

意見 社会的弱者の方々にとってマイナンバーカードの取得や更新手続が困難であるという点は、成年後見制度など法により保護される措置が用意されている。そういった制度を市民の方々に認知させ、より利用しやすくするということを考えていくべきである。
○挙手少数により不採択

人事案件

農業委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

農業委員会委員

黒田 昭雄 氏

人権擁護委員候補者

笠原 弘美 氏

湯本 則子 氏



議員研修を実施しました

5年11月6日に「秩父市の行政評価」をテーマとして、議員研修会を実施しました。

市の行政評価シートは、「主要な施策の成果報告書」として議会へ提出され、議会でも事業の成果の検証や確認が行われています。今回、総合政策部改革推進課の職員を講師として、実際の評価シートの記入方法など具体的な事例を交えて説明をいただき、行政評価の目的や、その重要性についての認識をさらに深めることができました。



議員研修の様子